

## ご家庭や地域で取り組んでいただきたいこと

**ポイント1** 「自らの命は自ら守る」ための行動と知識を  
身につけましょう（自助）。

**① 住んでいる地域の災害リスクを把握しましょう。**

- ➡ 別添のハザードマップ集で確認してください。  
(災害は、想定を超える可能性があることも忘れないでください。)

**② 避難についての理解を深めましょう。**

- ➡ 避難情報と防災気象情報の違いを知りましょう。
- ➡ 開設する施設など避難所に関する知識を学びましょう。

**③ 「避難行動判定フロー」を使って、自分の避難行動を考えてみましょう。**

- ➡ 安全な場所の場合は、その場に留まりましょう。
- ➡ 「知人宅等への避難」、「避難所への避難」、「上階への垂直避難」  
など状況に応じた避難を学びましょう。

**④ 災害に備えましょう。**

- ➡ 命を守るための情報収集を行いましょう。
- ➡ 携行品や食料などの備蓄を準備しましょう。
- ➡ 自分の行動（マイ・タイムライン（避難行動計画））を考えましょう。

**ポイント2** 「地域で助け合う」ための意識を育みましょう（共助）。

**⑤ 町内会長として期待される役割を知りましょう。**

- ➡ 期待される役割を理解していただくとともに、  
日頃から挨拶や声掛けなど地域の皆さんと  
コミュニケーションをとりましょう。

詳細・お申込みは  
こちらから



**⑥ 町内会に入りましょう！**

- ➡ 阪神・淡路大震災では、地震によって倒壊した  
建物から救出され生き延びることができた人の  
8割が、家族や近所の方によって救出されました。  
(防災白書より)

町内会に入って、各地域で「顔の見える関係」を  
つくり、災害に強いまちづくりをしましょう。

